

平成26年度 21世紀土地改良区創造運動 北海道大賞

受賞地区の概要

～新たな水土里ネットの創造～

○道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織

○道民・国民の要請に対応した農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織を目指して



平成26年8月25日

水土里ネット北海道
北海道土地改良事業団体連合会

はじめに

21世紀土地改良区創造運動（以下「21創造運動」）は平成13年度から始まり、14年度には土地改良区の愛称「水土里ネット」が決定し、以降、この愛称の普及を含め土地改良区の役割の一層の発揮等に向けた多様な運動が全国的に展開されております。

また、平成15年度には、全国水土里ネットにおいて、全国の模範となる優れた運動や示唆に富む運動を展開している水土里ネットを表彰する「21創造運動大賞」が創設されました。

このような中で、本会は、21創造運動を一層推進する支援体制の強化を図るため、「21創造運動表彰選考委員会」を設け、平成16年度から「21創造運動北海道大賞」を選考しております。

21創造運動は、水土里ネットの役割・機能を再認識するなど自己確認、自己変革に取り組む（内部運動）とともに、農業・農村の多面的機能や農地・農業用水等の資源保全の重要性と水土里ネットの果たす役割などについて広く理解の醸成を図る（外部運動）ものであります。今後とも水土里ネットが、道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、また、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織として発展するためには、これからも着実に継続して21創造運動に取り組んでいかなければなりません。

本会といたしましては、この表彰を通じ、関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげ、さらなる運動の推進と新たな展開が図られるよう支援して参りたいと考えております。

I 21創造運動北海道表彰について

1. 21創造運動表彰の趣旨

「水」「土」「里」は食料の安定供給や農業・農村の多面的機能の発揮の基盤となる社会共通資本。道民・国民の財産であるこの「水」「土」「里」を良好な状態で次世代へ継承するため、水土里ネットでは、農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織を目指して、21創造運動を積極的に展開している。

このような中で、模範となる運動を展開している水土里ネットの表彰を通じ、活動に取り組む関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげることにより、水土里ネット関係者の運動への取り組み意欲の高揚と意識改革を図るとともに、運動のさらなる発展と新たな展開に資する。

2. 21創造運動表彰の選考経過等

(1) 選考対象

21創造運動に積極的に取り組み、北海道の模範となる運動を行うか、又は、他の運動に対して示唆を与えうる運動を行っている水土里ネット。

(2) 選考方法

本会「21創造運動表彰選考委員会」が、道内74水土里ネットの取組状況を精査し、北海道大賞を選定する。

(3) 「21創造運動表彰選考委員会」委員

委員長	梅田安治	農村空間研究所長、北海道大学名誉教授
副委員長	浜田哲	美瑛町長
委員	長澤徹明	北海道大学名誉教授
〃	森久美子	作家、エッセイスト
〃	小田たず子	特定非営利活動法人農業応援団めぐり・びれっじ理事

委員	野城正功	農政ジャーナリスト
//	黒崎宏	北海道開発局農業水産部調整官
//	山田恵二	北海道農政部農村振興局長

(4) 選考基準

水土里ネットが取り組む21創造運動での愛称の普及、都市と農村との交流、地域住民等と連携した地域づくり、総合学習など学校教育との連携、先駆的な農業・農村振興、環境・景観保全、多様な広報などの推進において、その運動の取組体制、意味性、継続性・発展性で優れた活動が行われ、地域住民の理解促進や地域振興に貢献するなど運動の成果が認められること。

1) 運動の取組体制

- ① 役職員だけでなく、総代や組合員に運動への理解が浸透している。
- ② 運動を担う人材の育成に取り組んでいる。

2) 運動の意味性

- ① 基本理念や目標を立てて取り組んでいる。
- ② 水土里ネットの特徴や地域資源等を生かした運動となっている。
- ③ それぞれの運動が総花的でなく、上記①に沿って位置づけられている、または相互に関連性をもって位置づけられている。

3) 運動の継続性・発展性

- ① 身の丈にあった、無理のない運動となっている。
- ② 取り組みの浸透や継続、広がりを促すための工夫を行っている。
- ③ 水利施設の役割及びその重要性並びに水土里ネットの仕事を理解してもらう内容が盛り込まれた運動となっている。

4) 運動の成果

- ① 組合員等の組織運営への参画・活性化への貢献（組織活性化）
- ② 地域農業の振興への貢献（地域農業）
- ③ 地域コミュニティの再生強化（地域コミュニティ）
- ④ 施設管理や地域資源の保全強化（地域資源管理）

(5) 選考経過

○表彰選考委員会

期 日 平成26年8月1日

選考内容

- ・ 21創造運動北海道表彰の実施方針と選考基準等について審議。
- ・ 道内74水土里ネットの創造運動の活動内容について、①愛称普及②都市と農村の交流③関係団体・地域住民との連携④学校教育との連携⑤先駆的な農業・農村振興活動⑥環境・景観保全活動⑦多様な広報等⑧運動の成果一の8項目に分類し、それぞれの項目で各水土里ネットがどのような活動を行い、どのような成果が上がっているのかを整理。

【北海道大賞の選考】

上記を踏まえて、これまで全国大賞、北海道大賞を受賞した以外の水土里ネットの中から、①から⑦の項目について積極的に取り組んでいる6水土里ネットを北海道大賞候補として選考。その中から、選考基準をもとに特に優れた活動を展開している3水土里ネットを北海道大賞に選定。

Ⅱ 21 創造運動北海道大賞地区の概要

1. 水土里ネット南美原（南美原土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

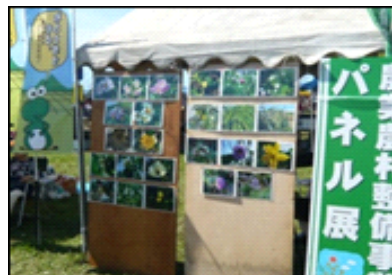
- ①地区面積：1,332ha ②組合員数：85戸
③関係市町村：江別市、新篠津村 ④役職員等数：役員7名、職員3名

（2）21 創造運動の主な取組

都市と農村の交流

◇地域イベントへの参加

道央農業協同組合が主催する「えべつ農業まつり」において水土里ネットコーナーを設置し、パネル展示やアンケート調査などを実施し、農業水利施設の重要性や水土里ネットの役割をPRしている。



関係団体・地域住民等との連携

◇HBCラジオとの連携による農業体験学習の開催

HBCラジオが主催する親子田植え体験教室、稲刈り体験教室に全面的に協力し、水土里ネットの役割等をPRしている。



学校教育との連携

◇小学校の総合学習の実施

江別市食育推進協議会と連携し、市内4つの小学校の児童が参加する田植え、稲刈り体験学習を実施し、水土里ネットの役割等をPRしている。



先駆的な農業・農村振興活動

◇農地・水保全管理支払交付金の積極的な推進

地区内の4つの活動組織と緊密な連携を図り、活動計画などについて助言・指導を行っているほか、2つの活動組織の事務局も担い、地域住民等の参加を得た円滑な活動推進に向けて積極的な支援を行っている。



（3）21 創造運動の概要と受賞ポイント

- イベントへの参加を通じて、水土里ネット、農業用水、農業・農村の多面的機能などの役割や重要性について積極的にPRしている。
- 農業体験学習や小学校の総合学習を通じて、水土里ネット、農業用水、農業・農村の多面的機能などの役割や重要性について積極的にPRしている。
- 農地・水保全管理支払交付金の活動組織の構成員として、活動計画の指導・助言、活動計画の適正管理を行っている。

2. 水土里ネット芦別市（芦別市土地改良区）

(1) 水土里ネットの概要

- ① 地区面積：1,165ha
- ② 組合員数：146戸
- ③ 関係市町村：芦別市
- ④ 役職員等数：役員10名、職員5名

(2) 21 創造運動の主な取組

都市と農村の交流

◇地域イベントへの参加

「芦別市農業まつり」に参加し、パネル展示やアンケート調査を実施し、農業水利施設の重要性や水土里ネットの役割をPRしている。



関係団体・地域住民等との連携

◇農業体験学習の実施

芦別市や生産組合と連携して、小学生の田植え、稲刈り、田んぼの生き物観察等の農業体験学習実施し、農業水利施設の重要性や水土里ネットの役割をPRしている。



学校教育との連携

◇小学校の社会科見学に協力

小学校と連携して社会科見学を実施。児童らを頭首工に案内し、農業用水や農業水利施設の役割、重要性などを紹介している。



多様な広報

◇新聞社等への情報提供

水土里ネットが取り組む創造運動の活動や土地改良事業の取組などを新聞社等に積極的に情報発信し、水土里ネットの役割等を広くPRしている。



(3) 21 創造運動の概要と受賞ポイント

- イベントへの参加や小学校の社会科見学を通じて、水土里ネット、農業用水、農業・農村の多面的機能などの役割や重要性について積極的にPRしている。
- 農業体験学習や小学校の総合学習を通じて、水土里ネット、農業用水、農業・農村の多面的機能などの役割や重要性について積極的にPRしている。
- 新聞社等への積極的な情報発信により、水土里ネットの役割等を広くPRしている。

3. 水土里ネット南るもい（南るもい土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- ①地区面積：2,609ha ②組合員数：199戸
③関係市町村：留萌市、小平町 ④役職員等数：役員11名、職員4名

（2）21 創造運動の主な取組

都市と農村の交流

◇地域イベントへの参加

町が主催する「産業祭り」において水土里ネットコーナーを設置し、啓発グッズの配布などにより農業用水の多面的機能や農業水利施設の役割等をPRしている。



先駆的な農業・農村振興活動

◇農地・水保全管理支払交付金の積極的な推進

地区内の活動組織と密接な連携を図り、地域住民等の参加を得た円滑な活動推進に向けて積極的な支援を行っている。



環境・景観保全活動

◇用水路敷地を活用した植栽活動の実施

地農地・水保全管理支払交付金の活動組織と連携し、域住民の参加を得て、花の植栽など景観保全活動に積極的に取り組んでいる。



多様な広報等

◇改良区だよりの発行等

土地改良区だよりの「水土里ネット南るもい」を年2回発行し、農業水利施設の多面的機能や水土里ネットの役割をPRしているほか、啓発グッズの配布などにより、用水路等における事故防止対策も積極的に行っている。

（3）21 創造運動の概要と受賞ポイント

- イベントへの参加を通じて、水土里ネット、農業用水、農業・農村の多面的機能などの役割や重要性について積極的にPRしている。
- 農地・水保全管理対策の活動組織連携を図り、より効果の高い活動を行うための支援・協力を行っている。
- 広報誌の発行等により、農業水利施設の多面的機能や水土里ネットを広くPRしている。